

v6(IPoE)接続サービスご利用に関する注意事項

本サービスの以下特徴をご理解、ご承諾頂いた上お申込み下さい。

1. サービスの種類

東日本電信電話株式会社（以下、NTT 東）、西日本電信電話株式会社（以下、NTT 西）の NGN 網上で、NTT コミュニケーションズ（以下、NTT コム）から提供される IPv4 over IPv6 オプションを利用し、インターネット接続を提供するサービスです。

・本サービスはベストエフォート型サービスとなり、速度向上を保証するものではありません。
・本サービスの性質上、下記のご利用いただけないインターネットサービスおよび制限事項がございます。

- ・ IP 電話
- ・ 特定のプロトコル（PPTP、SCTP）を利用するサービス
- ・ オンラインゲームなどの特定のポートを利用するサービス
- ・ IPv4 グローバルアドレスを共有するネットワークでは利用できないサービス
- ・ 『v6(IPoE)接続サービス』では、迷惑メール防止を目的として、本サービスのバックボーン接続地点でPort25を遮断しております。本サービス利用者様がメールを送信する場合、送信SMTP サーバーの接続ポートをPort587等に変更し送信する事が必須となります。

2. v6(IPoE)接続サービスが利用可能な光サービス

・IPoE 接続サービスを利用するには、NTT 東、NTT 西が提供する、IPoE に対応した光サービス(フレッツおよび光コラボ)および「フレッツ・v6 オプション」の申し込みが必要となります

3. v6(IPoE)接続サービス提供について

・フレッツ回線の特定には、NTT 東西が利用者へ通知するお客さま ID (CAF/COP 番号) および、当社が指定する情報を提出していただく必要があります。

4. 「フレッツ・v6 オプション」の代行申込について

・NTT 東、NTT 西が提供する「フレッツ・v6 オプション」をご契約されていない場合、NTT 東西への IPoE 工事申込の際に、光事業者が光回線単位に提供する「フレッツ・v6 オプション」の申込手続を当社が代行いたします。

5. ご利用者様のご承諾事項

3. について、当社経由でベッコアメ・インターネット、NTT コム、NTT 東西への提出いたします。

6. v6(IPoE)接続に必要な端末について

・IPoE 接続サービスの IPv6 利用には、NTT 東西含む光事業者が提供する IPoE に対応した機器の利用を推奨します。
・市販ルータの利用には IPv6 ブリッジ対応等の設定機能が必要な場合があります。
・IPoE 接続サービスを開通する際、環境により IPv6 アドレスが取得されない等の不具合があった場合は、ご利用端末の再起動をお願いいたします。

7. 再販利用の禁止

- ・本サービスを当社の承諾なく再販を目的とした利用を制限しております。

8. IPv4 接続オプションの提供

- ・当社は契約者に対し、IPv6 通信に加えて IPv4 通信を可能とする IPv4 接続オプション(以下、IPv4 接続)を提供します。
- ・IPv4 接続を利用するには、IPv4 接続に対応した端末の用意が必要です。

9. IPv4 接続に必要な端末について

- ・IPoE 接続サービスの IPv4 利用には、本サービス IPv4 接続に対応した専用端末(以下、IPv4 ルータ)が必要です。
- ①ブロードバンドルータ：本サービス対応のブロードバンドルータをご準備いただきます。
 - ②ホームゲートウェイ：対応したホームゲートウェイにより IPv4 接続を可能とします。
- ・IPoE 接続サービスの IPv4 接続は、PPPoE の IPv4 接続との併用はできません。
 - ・既に IPv4 ルータをお持ちの場合等、複数の IPv4 ルータを接続すると通信に支障がでる場合があります。
 - ・IPv4 接続には、本サービス対応のアプリケーションソフトウェア(以下、MAP-E アプリ)をインストールする必要があります。その場合において、インストールに係る責任は契約者が負うものとします。
 - ・IPv4 接続の利用対象となる IPv4 ルータの状態、種類又はその他の理由により、端末設備に本サービス対応の MAP-E アプリがダウンロード又はインストールできない場合には、この機能を利用できません。
 - ・当社は、本サービス対応の MAP-E アプリの完全性を保証するものではなく、本サービス対応の MAP-E アプリの利用に伴い発生する損害については責任を負いません。
 - ・②について、当社は NTT 東西の提供するフレッツ・ジョイントを利用して、本サービス対応の MAP-E アプリをホームゲートウェイに配信します。
- NTT 東西の都合、事業休止、その他の一切の理由により、契約者がこの機能を利用できなくなった場合には、IPv4 接続の提供を中止又は廃止することがあります。

10. ひかり電話 タイプ1 のご利用について

- ・本サービスにてホームゲートウェイを利用予定で、ひかり電話タイプ1 を利用している場合は、対応型式をご利用であっても本サービスをご利用いただけません。ひかり電話タイプ2 へ変更するか、ホームゲートウェイではなく、対応ブロードバンドルータをご利用いただく必要があります。ひかり電話タイプ1 からひかり電話タイプ2 へ変更する場合は NTT (116)、もしくはコラボ事業者へご相談ください。

1 1. v6 (IPv6) 接続サービス利用時の環境構成における注意点

- ・本サービス対応ホームゲートウェイを利用する場合であっても、ホームゲートウェイ配下に設置するブロードバンドルーターにて PPPoE アカウントが設定されている場合、IPv4 通信は PPPoE が有効となるため、PPPoE アカウントを削除いただく必要がございます。

- ・本サービス対応ホームゲートウェイにて PPPoE アカウントが設定されている状態で本サービスの利用を開始した場合、ホームゲートウェイが再起動したタイミングで、一時的に PPPoE 接続される場合がございます。PPPoE 接続を望まない場合は、ISP 事業者にて PPPoE アカウントの削除や停止を実施いただく必要がございます。

尚、ホームゲートウェイにて v6 (IPv6) 接続サービスを開通しますと、ホームゲートウェイの PPPoE アカウント接続先設定画面が非アクティブとなり、PPPoE アカウント設定内容を編集することが出来なくなります。

- ・本サービスをお申込みいただく以前より、本サービス対応ブロードバンドルーターにて PPPoE 接続をされていた場合、本サービスお申込み後に PPPoE の設定を削除し、ブロードバンドルーターの再起動が必要な機種もございます。

- ・本サービス対応ブロードバンドルーターを利用する場合であっても、本サービス未対応ホームゲートウェイ配下に設置しますと、ブロードバンドルーターがホームゲートウェイからの NS (Neighbor Solicitation) 要請に回答できず、NGN 網側からの IPv6 通信を受け取れないため、本サービスをご利用いただくことができません。

- ・利用者のホームゲートウェイが本サービス対応ではない場合、NTT にて本サービスに対応しているホームゲートウェイに交換いただける場合もございますので、NTT (116)、もしくはコラボ事業者へご相談ください。